

## 「現場の耳」のデジタル化が拓げる非接触の故障予兆検知

スマートファクトリー・スマート保全を推進する

### 「Animo VSCS 音響分析」提供開始

(Voice & Sound Cloud Service)

音響・音声技術を専門とするソフト開発会社の株式会社アニモ（所在地：神奈川県横浜市中区 代表取締役：茂手木 正也）は、自社開発の音響技術を活用したクラウド型分析サービスの提供を開始いたします。

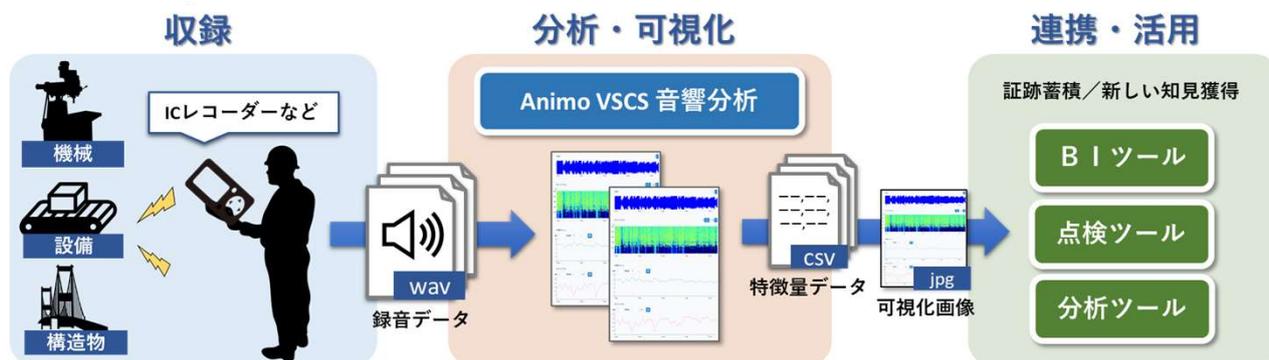
社会・産業インフラに於けるDX推進では、設備や構造物の状態を可視化・数値化し、生産性や品質の向上・故障予兆の検知・安全性の改善につなげることが期待されています。

しかし、熟練者の経験やノウハウなど感覚で行う官能点検の中でも、聴覚にあたる音響分野のDX推進は、収録や分析方法に習熟が必要で、かつ分析ソフトが高額であるなど課題がありました。

当社では、これまで蓄積した社会・産業インフラでの音響診断の実績をもとに、専門知識が不要、かつ音響データをお客様自身で分析可能なクラウドサービスの提供を開始いたします。分析した結果は外部システム、ツールと連携し、他のデータとの相関分析をすることも可能です。

本サービスにより「音響データ」を活用した「スマートファクトリー」や「スマート保全」に貢献し、今後3年間で500社との利用契約を目指します。

#### 【ご利用イメージ】



#### 1. 点検作業における音響証跡

- 目視点検の写真証跡に加えて、聴取点検の証跡として録音を蓄積。証跡管理を充実
- 蓄積された分析結果を傾向分析。点検指標の定量化

#### 2. 音響分析による設備の予防保全

- メンテナンス前後や中長期データを収集。特徴量の変化をモニタリングし故障予兆を把握
- 熟練作業員の感覚・暗黙知を「可視化・数値化」。形式知として共有資産化・稼働率向上

#### 【今後の展開】

「Animo VSCS」は、音響分析だけでなく、音声分析や多言語音声合成など、自社開発技術をクラウドサービスとして順次展開して参ります。